（2026 年１月分以降適用）**※変更箇所は下線太字部分**

3500	電気代	
品　目	銘　柄	単　位
電気代	低圧電灯、基本料金又は最低料金・電力量料金・燃料費調整単価・再生可能エネルギー発電促進賦課金単価・口座振替割引等	１か月
	料金区分別（規制料金・自由料金）、使用電力量パターン別	

価格選定

(1)　調査市町村別に電気を供給している代表的な電力会社を１社選定する。

北海道電力、東北電力、東京電力エナジーパートナー、北陸電力、中部電力ミライズ、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力

(2)　料金区分別（規制料金・自由料金）に料金プランを選定する。

(3)　１か月当たりの使用電力量について５パターン設定する。

使用電力量パターン：**170** kWh（20A）、**270** kWh（30A）、**370** kWh（40A）、**490** kWh（50A）、**780** kWh（60A）

（カッコ内は、アンペア制における契約アンペア数を表す。）

(4)　口座振替割引等、適用に条件があるものの、多数が利用しているとみられる割引サービスについては、価格の算出に適用する。

指数算出方法

①　使用電力量パターン(b)別の価格を算出する。

$p_{(Y,M),a,b}$ ＝　基本料金＋（１kWh 当たりの料金＋燃料費調整単価）×１か月の使用量

＋再生可能エネルギー発電促進賦課金単価×１か月の使用量

－口座振替割引等

※　最低料金制の場合

$p_{(Y,M),a,b}$ ＝　最低料金＋(1kWh 当たりの超過料金単価×（１か月の使用量－最低料金量))

＋燃料費調整最低料金＋(燃料費調整単価×（１か月の使用量－最低料金量))

＋再生可能エネルギー発電促進賦課金最低料金

＋（再生可能エネルギー発電促進賦課金単価×（１か月の使用量－最低料金量)）－口座振替割引等

②　使用電力量パターン(b)別の世帯割合(q)を用いて加重平均し、料金区分(a)別の平均価格を算出する。

$$P_{(Y,M),a} = \frac{\sum_b p_{(Y,M),a,b}\, q_{0,a,b}}{\sum_b q_{0,a,b}}$$

③　料金区分(a)別の契約割合(q)を用いて加重平均し、調査市町村別の平均価格を算出する。なお、契約割合は原則として毎年 12 月に更新する。

$$P_{(Y,M),y} = \frac{\sum_a p_{(Y,M),a}\, q_{y,a}}{\sum_a q_{y,a}}$$

④　前年 12 月を 100 とする連環指数を算出する。

$$I_{Y,M}^{(L)} = \frac{P_{(Y,M),y}}{P_{(Y-1,12\text{月}),y}} \times 100$$

Y：当年、M：当月
0　：基準時
y　：ウエイト参照年
a　：料金区分
（規制料金・自由料金）
b　：使用電力量パターン

⑤　前年 12 月の指数に当年当月の連環指数を乗じて、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。

$$I_{Y,M} = I_{Y-1,12\text{月}} \times \frac{I_{Y,M}^{(L)}}{100}$$

価格指数の適用

調査市町村別

（2025 年 12 月分まで適用）

3500	電気代	
品　目	銘　柄	単　位
電気代	低圧電灯、基本料金又は最低料金・電力量料金・燃料費調整単価・再生可能エネルギー発電促進賦課金単価・口座振替割引等	1 か月
	料金区分別（規制料金・自由料金）、使用電力量パターン別	

価格選定

(1)　調査市町村別に電気を供給している代表的な電力会社を 1 社選定する。

北海道電力、東北電力、東京電力エナジーパートナー、北陸電力、中部電力ミライズ、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力

(2)　料金区分別（規制料金・自由料金）に料金プランを選定する。

(3)　1 か月当たりの使用電力量について 5 パターン設定する。

使用電力量パターン：160 kWh（20A）、250 kWh（30A）、330 kWh（40A）、440 kWh（50A）、720 kWh（60A）

（カッコ内は、アンペア制における契約アンペア数を表す。）

(4)　口座振替割引等、適用に条件があるものの、多数が利用しているとみられる割引サービスについては、価格の算出に適用する。

指数算出方法

①　使用電力量パターン(b)別の価格を算出する。

$p_{(Y,M),a,b}$ ＝　基本料金＋（1 kWh 当たりの料金＋燃料費調整単価）× 1 か月の使用量

＋再生可能エネルギー発電促進賦課金単価× 1 か月の使用量

－口座振替割引等

※　最低料金制の場合

$p_{(Y,M),a,b}$ ＝　最低料金＋(1kWh 当たりの超過料金単価×（1 か月の使用量－最低料金量))

＋燃料費調整最低料金＋(燃料費調整単価×（1 か月の使用量－最低料金量))

＋再生可能エネルギー発電促進賦課金最低料金

＋（再生可能エネルギー発電促進賦課金単価×（1 か月の使用量－最低料金量)）－口座振替割引等

②　使用電力量パターン(b)別の世帯割合(q)を用いて加重平均し、料金区分(a)別の平均価格を算出する。

$$P_{(Y,M),a} = \frac{\sum_b p_{(Y,M),a,b}\, q_{0,a,b}}{\sum_b q_{0,a,b}}$$

③　料金区分(a)別の契約割合(q)を用いて加重平均し、調査市町村別の平均価格を算出する。なお、契約割合は原則として毎年 12 月に更新する。

Y：当年、M：当月
0　：基準時
y　：ウエイト参照年
a　：料金区分
（規制料金・自由料金）
b　：使用電力量パターン

$$P_{(Y,M),y} = \frac{\sum_a p_{(Y,M),a}\, q_{y,a}}{\sum_a q_{y,a}}$$

④　前年 12 月を 100 とする連環指数を算出する。

$$I_{Y,M}^{(L)} = \frac{P_{(Y,M),y}}{P_{(Y-1,12\text{ 月}),y}} \times 100$$

⑤　前年 12 月の指数に当年当月の連環指数を乗じて、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。

$$I_{Y,M} = I_{Y-1,12\text{ 月}} \times \frac{I_{Y,M}^{(L)}}{100}$$

価格指数の適用

調査市町村別